

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成27年3月12日 (2015.3.12)

【公開番号】特開2014-166756(P2014-166756A)

【公開日】平成26年9月11日 (2014.9.11)

【年通号数】公開・登録公報2014-049

【出願番号】特願2014-72249(P2014-72249)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

C 0 9 D 11/38 (2014.01)

【F I】

B 4 1 M 5/00 A

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 J 2/01 5 0 1

C 0 9 D 11/38

B 4 1 J 2/01 1 2 9

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月21日 (2015.1.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

色材、光硬化性モノマー、光開始剤、重合禁止剤、及び、ゲル化剤を 0.1 質量%以上 10 質量%未満含有する活性光線硬化型インクジェットインクを記録媒体上に吐出するインクジェット記録方法であって、該活性光線硬化型インクジェットインクの 25 における粘度が $10^2 \text{ mPa} \cdot \text{s}$ 以上 $10^5 \text{ mPa} \cdot \text{s}$ 未満であり、かつ該活性光線硬化型インクジェットインクのゲル化温度と記録媒体の表面温度の差を 5 ~ 15 に制御することを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項 2】

前記重合禁止剤が、[1,10-ジオキソデカン-1,10-ジイルビス[オキシ(2,2,6,6-テトラメチルピペリジン-4,1-ジイル)オキシ]]ラジカルを含有していることを特徴とする請求項 1 に記載のインクジェット記録方法。

【請求項 3】

前記記録媒体の表面温度を、前記記録媒体の裏面に設けられた温調手段によって制御することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のインクジェット記録方法。

【請求項 4】

前記温調手段が、ペルチェ素子、ヒーター、冷媒・冷却水循環から選ばれるいずれか 1 つであること特徴とする請求項 3 に記載のインクジェット記録方法。

【請求項 5】

前記記録媒体の表面温度を 30 以上 70 未満に制御することを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録方法。

【請求項 6】

色材、光硬化性モノマー、光開始剤、重合禁止剤、及び、ゲル化剤を 0.1 質量%以上 10 質量%未満含有する活性光線硬化型インクジェットインクを記録媒体上に吐出するイ

ンクジェット記録方法であって、該活性光線硬化型インクジェットインクの25における粘度が $10^2 \text{ mPa} \cdot \text{s}$ 以上 $10^5 \text{ mPa} \cdot \text{s}$ 未満であり、かつ該活性光線硬化型インクジェットインクのゲル化温度と、インクジェット記録ヘッドと記録媒体の間に設けられた中間転写媒体の温度の差を5～15に制御することを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項7】

前記記録媒体がコート紙、貼合紙、合成紙、非吸収性のプラスチック、金属及びガラスから選ばれるいずれか1つであることを特徴とする請求項1～6のいずれか1項に記載のインクジェット記録方法。

【請求項8】

前記ゲル化剤が脂肪酸、脂肪酸エステル、脂肪酸アミドから選ばれるゲル化剤であることを特徴とする請求項1～7のいずれか1項に記載のインクジェット記録方法。

【請求項9】

前記活性光線硬化型インクジェットインクのゲル化温度が40以上、90未満であることを特徴とする請求項1～8のいずれか1項に記載のインクジェット記録方法。

【請求項10】

前記活性光線硬化型インクジェットインクのインクジェット記録ヘッド内における粘度が $3 \text{ mPa} \cdot \text{s}$ 以上、 $20 \text{ mPa} \cdot \text{s}$ 未満であることを特徴とする請求項1～9のいずれか1項に記載のインクジェット記録方法。

【請求項11】

請求項1～10のいずれか1項に記載のインクジェット記録方法であって、インクジェット記録方法がシングルパス記録方式であることを特徴とするインクジェット記録方法。